

No.	課室 所名	目標項目	難易度 (ABC)	目標の内容				目標に対する活動(上半期レビュー)		目標達成の状況【output・input】		成果分析【outcome】	
				目標指標の内容	目標の基準値	目標達成時期	目標値	目標達成のための具体的方法	【現状】	【ギャップと対策】	①達成値・実績値	②取組・行動内容	③目標達成による成果
				(何を)	(目標設定時の状態・比較実績)	(いつまで(に))	(どの水準までどうする・達成後の状態)	(具体的な取組・行動の内容・スケジュールの概要など)	上期(4月～9月)の取組実績 (具体的活動・行動)	下期(10月～3月)に向けた課題と 取組の予定(具体的活動・行動)	(目標の達成状況・ 現在の状態)	(目標達成のために 行った取組・行動)	(目標の達成による効果・ 目標達成できなかった事由)
業務改善取組①	教育総務課	教育委員会ホームページの円滑な運用と活発な利用	A	横手市教育委員会ホームページの、市長部局ページ並みの運用と活用	現状は自動更新ができないシステムであり更新は月2回、年間70回程度にとどまっている。	年度末まで	・平成30年度から市長部局のホームページ並みの即時自動更新と運用ができるよう、今年度内に環境整備と意識啓発を行う。 ・4月 関係課とシステムの検討 ・6月 一部システムの試行 ・9月 システムの評価と検討 ・11月 30年度に向けた予算化 ・29年度中の更新も活発に行う。	・月の上旬と下旬で月2回の更新を実施している。 ・9月末時点で43回更新。 ・全庁的ホームページリニューアルに合わせ、教育委員会内のコンテンツの充実に向けて、各課内の事業の掘り起し(紹介)等ができるように、各課と連携して準備を進める。	・市長部局のホームページ並みの即時更新と運用ができるための環境整備と意識啓発が実現した。 ・ホームページの更新は2月末まで72回更新した。	・教育委員会内のコンテンツの充実に向け、課内の事業の掘り起しに努めた。	・教育委員会内のコンテンツの充実を図り、課内の事業の掘り起し等を行うことにより、課内の連携に結び付けることができた。		
重点取組①	教育総務課	横手南中学校と山内中学校との統合事業の推進	A	①山内中での業務推進 ②南中の大規模改修 ③山内中閉校式典実施	①29年3月議会議決 ②統合で生徒数増加のため改修が必要 ③式典実施を計画中	年度末まで (改修は9月まで)	①30年4月の統合実現 ②多目的室2室を普通教室へ 下足棚追加と生徒玄関改修 体育館屋根ふき替えと天井 断熱材の張り替え ③関係者の心に残る式典	①5月統合準備委員会設立。随時PTA等での説明会開催。 ②4月実施設計 地施設との調整 6月竣工・入札、7月～9月施工 ③4月説明、5月実行委員会発足 通年で学校と実行委員会協議	①スムーズに統合を迎えられるよう関係校と調整を図る PTA等で説明を行う ②南中の大規模改修 現地中間検査から適正との結果より、9月30日から改修部分は使用している ③山内中閉校式典実施 12月16日 閉校記念式典開催予定 山内中にて実行委員会を組織し、式典内容を協議している。	①統合準備委員会を設置し、統合に向けた様々な調整を行った。また、PTAで保護者に対し説明を行い、理解を得た。 ②統合に必要な学校改修を学校行事に支障なく工期どおりに短期間で完成することができた。 ③12月16日(土)山内中閉校式典	①統合準備委員会を5/12、9/28、12/21に開催し、調整を図った。 PTAに4/19、4/24、4/26、12/6、12/13、2/15参加し、説明を行った。 ②学校の協力を得ながら、施工業者と綿密に打ち合わせを行い、安全対策を取りながら工事を行った。 ③山内中、実行委員会と協議、連携し、式典に向けて準備を実施した。	①スムーズに統合を迎えられるよう関係校と調整を図ることが出来た。また、保護者の理解も得られた。 ②普通教室への改修等学校統合に必要な改修を完成させ、安全、安心な環境にすることができた。 ③卒業生も参加し、長年親しんだ学び舎に感謝の気持ちを表し、生徒や地域の方々の心の中に深く刻まれる式典とすることができた。	
重点取組②	教育総務課	十文字地域小学校統合事業の推進	A	建設予定地の用地買収と地質調査の実施	・平成28年度に基本設計、用地測量、造成設計完成済み。 ・4月7日付土地収用法事業認定告示。	年度末まで	・用地買収と地質調査に必要な作業を完了させる。 ・4月～税務署協議・農振除外 農地転用・用地交渉・仮契約 ・9月 議会に用地取得議案提案 本契約 ・10月～地質調査、物件補償。 ・住民説明会は随時行う。	・4月 税務署協議・農振除外 完了 ・6月 土地売買仮契約完了 ・8月 補償契約完了 ・8月 農地転用完了 ・9月 議案承認 土地売買本契約 ・4月～9月 住民説明会 3回開催	・10月 地質調査業務委託発注 【課題】 小学校建設地周辺の整備計画。 10月以降、関係部署と協議を行い調整を図る。	・用地取得を完了させることが出来た。 ・来年度に向けた地質調査、配置計画の調整等を行うことが出来た。 ・住民説明会を開催した。	・4/13 税務署協議完了 ・4/20 農振除外完了 ・8/3 農地転用完了 ・8/3 開発行為完了 ・9/22 土地売買契約本契約 ・11/13 地質調査業務委託発注 ・説明会 4/27、6/2、6/15、6/30、9/20、3/20、3/26開催 ・関係部署との合同協議 10/4、3/8	・用地取得を完了させ、来年度に向けた調査も行うことが出来た。 ・住民理解を深めるための説明会を随時開催出来た。 ・小学校建設に関連する周辺整備の協議を進めることが出来た。	
重点取組③	教育総務課	増田中学校長寿命化改良事業の実施	A	増田中学校長寿命化改良事業を実施(平成29年度～31年度)	・建築から44年経過し建物、設備機器が老朽化している。 ・トイレ等施設内の段差が多い。 ・交付金決定通知済。	年度末まで	・実施設計の完成と調整作業 躯体は改修から30年程度の使用に耐え得る施設に、施設内設備は快適な学校生活を送れる環境に改修。 ・4月～業者委託発注 ・6月～2月 実施設計 ・10月～3月 仮設校舎設置 ・学校へ説明・調整は通年実施	5月19日 仮設校舎賃貸借設計業務委託契約締結(5月31日完成) 6月5日 実施設計業務委託契約締結 8月8日 仮設校舎賃貸借契約締結 7月12日、14日 増田中及び増田小PTAに事業内容を説明 増田中学校との打合せを6回実施	・契約期間どおりに実施設計の完了 ・年度内の仮設校舎設置の完了 ・学校との調整、PTA等関係箇所への説明は必要に応じて随時開催し、情報を提供していく。 ・増田地域内に事業周知文書を配布	・契約期間内に実施設計が完成した。 ・予定どおり年度内に仮設校舎を設置が終了した。 ・増田地域には事業に関するお知らせを全戸に配布したほか、PTAに対して説明会を開催した。	・7/12 増田中学校PTA説明 ・7/14 増田小学校PTA説明 ・10/15 増田地域へ事業お知らせを全戸配布 ・2/15 仮設校舎見学会 ・2/28 実施設計完成 ・3/14 仮設校舎引渡 ・仮設校舎設置定例会及び実施設計委託業者との協議を定期的に開催し、進捗管理や情報交換を行った。	・実施設計の完成と仮設校舎を設置を完了させ、予定どおり来年度に向けた準備を行うことが出来た。 ・保護者に事業を理解していただくよう説明会を開催することができた。	
重点取組④	教育総務課	教育情報化推進計画の策定	A	教育関連の情報化推進計画を策定する。	小中学校でのICT整備と導入のための情報化推進計画が未策定である。	年度末まで	・市の情報化計画を上位計画とし、ICT整備を盛り込んだ教育情報化計画を策定する。平成30年度からの計画的な予算化につなげる。 ・6月 市の情報化計画策定 ・7月 庁内調整会議を開催 ・8月～教育委員会内の協議 ・10月 教育委員会への提案 ・12月 30年度に向けた予算化	市の情報化計画(案)を参考に情報政策課の意見を踏まえながら、策定のための情報を収集中。 市の情報化計画の進捗状況に応じて策定する。 10月～12月 庁内調整会議を開催 12月～教育委員会内の協議 2月 教育委員会への提案	・関係箇所の協力を得ながら、年度内に計画を策定することができた。 ・10月～2月 情報政策課、教育指導課等庁内関係課と調整会議や協議を随時開催しながら計画を策定した。 ・3/23 教育委員会へ報告	・予定していた年度内に関係課と協議、調整しながら計画を策定することができた。 ・計画に基づき来年度からのICT環境の整備に結びつけることができた。			

No.	課室 所名	目標項目	難易度 (ABC)	目標の内容				目標に対する活動(上半期レビュー)		目標達成の状況(Output・input)		成果分析[Outcome]	
				目標指標の内容	目標の基準値	目標達成時期	目標値	目標達成のための具体的方法	【現状】	【ギャップと対策】	①達成値・実績値	②取組・行動内容	③目標達成による成果
				(何を)	(目標設定時の状態・比較実績)	(いつまで)	(どの水準までどうする・達成後の状態)	(具体的な取組・行動の内容・スケジュールの概要など)	上期(4月～9月)の取組実績 (具体的活動・行動)	下期(10月～3月)に向けた課題と 取組の予定(具体的活動・行動)	(目標の達成状況・ 現在の状態)	(目標達成のために 行った取組・行動)	(目標の達成による効果、 目標達成できなかった事由)
業務改善取組①	文化財保護課	「目配り・気配り・心配り」をして「気づく」ようにしよう	B	業務の円滑化を図り、経費・時間・精度の向上を目指すとともに「気づき」による業務改善を目指す。	課員全員がお互いの所管業務の量や質、取り組み方、進捗状況を把握している。	年度末	課員全員がお互いの所管業務の量や質、取り組み方、進捗状況を把握している。	①報連相を徹底する ②情報を共有する ③スケジュールの入力	毎週月曜日の課長等会議後に課内の定例打合せを行うとともに各事案毎に適宜課内の情報の共有を図っている。	今後も継続していく。	課員が相互の担当業務の量や質、取り組み方、進捗状況を把握している。	毎週月曜日の課長等会議後に課内の定例打合せを行うとともに各事案毎に適宜課内の情報の共有を図った。	業務量が大きくなって対応しきれないものについて、互いにフォローし合いながら業務を進めることができた。
重点取組①	文化財保護課	「横手を学ぶ郷土学」の推進	A	小中学生及び全市民が、横手市全体の歴史・文化・伝統を総合的に学ぶことができる「横手を学ぶ郷土学」を活用・推進していく。	(H28年度) ・漫画後三年合戦物語購入配布 ・横手を学ぶ郷土学総合テキスト作成 ・創作子ども歌舞伎の上演 ・金澤掛唄の育成チーム結成 ・子ども伝統芸能発表大会開催	年度末	・新5年生へ漫画後三年合戦物語購入配布 ・総合テキストの配布、フォローのためのHP開設、活用についての検討 ・横手創作子ども歌舞伎の上演 ・金澤掛唄の育成チームの継続支援と新規育成チーム活動支援を行う ・子ども伝統芸能発表大会を開催し、将来の担い手育成を行う。	・新5年生へ漫画後三年合戦物語購入配布する。 ・総合テキストの配布、テキストをフォローのためのHPの開設、より具体的な活用について検討する。 ・7月中旬より稽古を開始し9月22日に増田小学校にて上演し好評を得た。 ・金沢掛け唄チームは7名でスタートし、5名で掛け唄大会や子ども歌舞伎、子ども伝統芸能発表大会に参加した。新規育成チームについては準備に着手。 ・10月22日に市民会館にて子ども伝統芸能発表大会を開催。5団体参加	・新5年生及び異動教職員、転入生より750冊購入し6月12日まで当初の配布を終えた。 ・テキストフォローのためのHPを教育指導課と連携し5月に開設した。 ・7月中旬より稽古を開始し9月22日に増田小学校にて上演し好評を得た。 ・金沢掛け唄チームは7名でスタートし、5名で掛け唄大会や子ども歌舞伎、子ども伝統芸能発表大会に参加した。新規育成チームについては準備に着手。 ・10月22日に市民会館にて子ども伝統芸能発表大会を開催。5団体参加	・新5年生へ漫画後三年合戦物語購入配布を行った。 ・総合テキストを配布し、フォローのためのHP開設、活用を開始した。 ・横手市創作子ども歌舞伎の上演を行った。 ・9月23日に増田小学校において横手市創作子ども歌舞伎を上演し、12月10日には小坂町の要請により康楽館で地元小学生らと交流上演を行った。 ・金澤掛唄の育成チームを継続支援し、9月14日の大会で披露した。新規育成チームのための話し合いを雄物川地域で行ったが29年度内の活動に到らなかった。 ・子ども伝統芸能発表大会を10月22日に5団体の参加で開催した。	・前年に作成した総合テキストを市内小中学校に配布し、フォローのためのHP開設、学校等での活用を関係課と共に進めた。さらに、次年度以降のためにテキストの見直し作業を進めた。 ・横手市創作子ども歌舞伎の上演を行った。 ・9月23日に増田小学校において横手市創作子ども歌舞伎を上演し、12月10日には小坂町の要請により康楽館で地元小学生らと交流上演を行った。 ・金澤掛唄の育成チームを継続支援し、9月14日の大会で披露した。新規育成チームのための話し合いを雄物川地域で行ったが29年度内の活動に到らなかった。 ・子ども伝統芸能発表大会を10月22日に5団体の参加で開催した。	様々な形で「横手を学ぶ郷土学」をスタートすることができ、児童生徒らの横手への関心を高めることができた。 新たな伝統芸能育成団体については、指導団体の再興、指導者たちの高齢化といった課題があり、根強い対応を進めていなければならない。	
重点取組②	文化財保護課	後三年合戦関連遺跡からの地域価値の向上	A	・後三年合戦シンポジウム・公開講座28年度参加人数実績 750人、出前講座実績16件・709人 ・文化財実習28年度実績 ①青山学院大学文学部、7泊8日21名 ②國學院大学大学院博物館学研究室、2泊3日8名 ・首都圏大学との官学連携	・後三年合戦シンポジウム・公開講座の参加人数増加 ・出前講座・授業や講師依頼の件数増加 ・大学の実習地1件・大学の出前講座1件 ・青山学院大学と連携し、大学の必修科目を金沢城跡で8月上旬に実習できるようにする。	年度末	・シンポジウム・公開講座の参加人数増加 ・出前講座・授業や講師依頼の件数増加 ・大学の実習地1件・大学の出前講座1件 ・青山学院大学と連携し、大学の必修科目を金沢城跡で8月上旬に実習できるようにする。	・後三年合戦シンポジウム・公開講座 ①沼柵公開講座、資料館特別展(國學院大学との共催)との連携事業 ②シンポジウム、陣館遺跡の特質、③金沢城公開講座、美郷町との連携事業、金沢城跡の調査報告書について。 ・青山学院大学と連携した発掘調査は、8月3日から11日まで一本杉遺跡において実施した。	・後三年合戦シンポジウムを美郷町と連携して11月25、26日に陣館遺跡を追加指定されたことを記念して金沢孔城館大ホールで開く予定。 ・一本杉遺跡の調査報告書を青山学院大学と共同で作成する。	・後三年合戦シンポジウム・公開講座等参加者 465人 ・出前講座実績14件・367人 ・公開講座 9月9日 雄物川コミュニティセンター 200人 ・文化財実習29年度実績 ①青山学院大学文学部 8/3-8/11 7泊8日 22名 ②國學院大学大学院博物館学研究室 8/10-8/16 6泊7日 20名	・後三年合戦シンポジウム・現地説明会 11月25日 功名塚付近 25人 11月28日 孔城館 240人 ・陣館遺跡追加国指定記念として開催することとし、市報・HP・サイネージ・ポスター・FM放送でPRを行った。 ・公開講座 9月9日 雄物川コミュニティセンター 200人 ・雄物川資料館特別展と連携して開催。國學院大学教授らも講演 ・小中学や一般の要請に答えて出前講座を積極的に行った。 ・青山学院大学文学部、國學院大学大学院博物館学研究室や個別の大学教授の調査等に協力・受入れをおこなった。	・公開講座や大学との連携によって多くの市民や学生に後三年合戦や今年の発掘の成果について、周知することができた。 ・平成29年度は、極めて重要な一本杉遺跡の発掘調査及び報告書作成のため、平成28年度と比べての講座参加人数は減少となっている。平成30年度は、金沢柵確認の重要な年になることが見込まれ、同様の回数となると思われるが調査の進捗状況を見ながら魅力ある公開講座を開催したい。	
重点取組③	文化財保護課	文化財の指定と保存活用	A	・文化財の指定 ・指定候補の調査 ・既存指定文化財の保存と活用	(H28年度) ・指定文化財数 255件 ・文化財指定候補の調査 5件 ・指定文化財の活用	年度末	・文化財の指定 5件 ・文化財指定候補の詳細調査 20件 ・資料館特別展示の活用。 ・市内外の関係館等と連携し、資料館特別展示の活用をしていく。	・文化財保護審議会の開催により指定を目指す。 ・登録有形文化財候補として5件調査を行い、3件については10月17・18日に文化庁調査官の現地調査を行った。 ・雄物川郷土資料館での特別展(刀剣展・ひな人形展)、後三年合戦金沢資料館での特別展示(陣館遺跡関連展示)を行う。	・12月上旬までに今年度の第1回文化財保護審議会を開催するため、諮問文化財候補2件について調査を進めた。 ・登録有形文化財候補として5件調査を行い、3件については10月17・18日に文化庁調査官の現地調査を行った。 ・雄物川郷土資料館での特別展(刀剣展・ひな人形展)、後三年合戦金沢資料館での特別展示(陣館遺跡関連展示)を行う。	・今後2回の横手市文化財保護審議会を開催し、4件の諮問と2件の答申をいただく。 ・建築士会等の協力を得ながら指定候補の詳細調査を継続して行う。 ・雄物川郷土資料館での特別展(刀剣展・ひな人形展)、後三年合戦金沢資料館での特別展示(陣館遺跡関連展示)を行う。	・文化財の指定 国指定1件 市指定3件 諮問中 3件 登録申請中 3件(棟) ・雄物川郷土資料館で4回の特別展を行い、初回は混上市の資料展、二回目は國學院大学との協働で開催した。後三年金沢資料館では、3回の特別展示を行った。	・陣館遺跡を国指定とするため書類の作成、提出を行うとともに、指定後の報道機関等対応を行った。他の指定文化財候補についてもそれぞれ調査を行い調査の作成を行った。 ・雄物川郷土資料館で4回の特別展を行い、初回は混上市の資料展、二回目は國學院大学との協働で開催した。後三年金沢資料館では、3回の特別展示を行った。	積極的に文化財調査等を行うことで、文化財の掘り起しと調査、指定・登録に向けた取り組みを行うことができた。 資料館では、先覚や和紙、刀剣やひな人形といった多様な文化的資産を紹介することができた。
重点取組④	文化財保護課	埋蔵文化財発掘調査の実施とその成果の周知・活用	A	・金沢城跡南側尾根(安本館)の発掘調査により中世城館跡が検出されたが、構本体の内容は未確定。 ・ほ場整備に係る平鹿町一本杉遺跡の緊急発掘調査。 ・H28ほ場整備に係る赤川沼頭遺跡緊急調査。面積2,000㎡で3か月調査。	・金沢城跡の古代から中世への変遷を明らかにし、金沢柵の特定に結びつけ、国指定史跡を目指す ③成果品(報告書)の3月刊行 ・一本杉遺跡の堅穴住居跡等の調査 ①調査期間:5月～8月(4か月) ②県文化財保護課の指導 ③成果品(報告書)の3月刊行	年度末	・金沢城跡の古代から中世への変遷を明らかにし、金沢柵の特定に結びつけ、国指定史跡を目指す ③成果品(報告書)の3月刊行 ・一本杉遺跡の堅穴住居跡等の調査 ①調査期間:5月～8月(4か月) ②県文化財保護課の指導 ③成果品(報告書)の3月刊行	・9月下旬より金沢柵推定地の発掘調査に着手している。 ・一本杉遺跡の調査を5月9日から9月下旬まで行い、5世紀頃の中央とつながりのある集落跡を確認することができた。	・金沢柵推定地の発掘調査を11月まで行い、その後報告書の作成を行う。 ・一本杉遺跡の調査報告書、遺物の理化学的調査も行いながら青山学院大学と共同で作成する。	・金沢柵推定地において9月29日から12月8日まで発掘調査を実施し、シンポジウム等で報告するとともに、報告書を作成。 ・平鹿町一本杉遺跡の緊急発掘調査において、古墳時代の集落跡を確認した。 ・一本杉遺跡において5月8日から9月8日まで、県、土地改良区・地権者と話し合いを行いながら発掘調査を進めた。現地での調査終了後は、新潟在住の専門家と青山学院大学と連携して報告書を作成。	・金沢柵推定地のうち功名塚付近で平安時代と思われる柱材や欄柵跡を確認した。 ・平鹿町一本杉遺跡の緊急発掘調査において、古墳時代の集落跡を確認した。 ・一本杉遺跡において5月8日から9月8日まで、県、土地改良区・地権者と話し合いを行いながら発掘調査を進めた。現地での調査終了後は、新潟在住の専門家と青山学院大学と連携して報告書を作成。	・金沢柵本体の場所の確定のための大きな手掛かりを得ることができた。今後の調査の方向性を定めることができた。 ・ほ場整備事業の進捗と調整しながら、調査を進めることができた。5世紀の古墳時代の中央との関係性もうかがえる遺跡が確認でき、大きな成果を上げることができた。	

No.	課室 所名	目標項目	難易度 (ABC)	目標の内容					目標に対する活動(上半期レビュー)		目標達成の状況【output・input】		成果分析【outcome】
				目標指標の内容	目標の基準値	目標達成時期	目標値	目標達成のための具体的方法	【現 状】	【ギャップと対策】	①達成値・実績値	②取組・行動内容	③目標達成による成果
				(何を)	(目標設定時の状態・比較実績)	(いつまで)	(どの水準までとする・達成後の状態)	(具体的な取組・行動の内容・スケジュールの概要など)	上期(4月～9月)の取組実績 (具体的活動・行動)	下期(10月～3月)に向けた課題と 取組の予定(具体的活動・行動)	(目標の達成状況・ 現在の状態)	(目標達成のために 行った取組・行動)	(目標の達成による効果、 目標達成できなかった事由)
重点 取組 ⑤	文化 財 保 護 課	複数の資料館施設の在り方と今後の方向性の検討	A	市内に複数点在する小規模な資料館施設と資料収蔵施設	雄物川郷土資料館・後三年合戦金沢資料館・平鹿農村文化伝承館・ほろわの里資料館の文化財保護課管轄4館のほか、各地に点在する資料収蔵施設。	年度末	資料館施設の在り方と今後の方向性を整理する。	①國學院大學大学院との連携を進め、大学院の研究として機手市の資料館施設に在り方や今後の方向性について報告をいただき、検討する。 ②風致維持向上計画策定などを通じて関係部署と調整し、方向性を整理する。	・8月10日～16日まで國學院大學博物館学研究室の教授及び学生が、実習と調査を機手で行った。 ・風致維持向上計画策定のため歴史や文化財、地域の風致について歴史まちづくり課等と連携しながら執筆、作成作業を進め、8月と10月に関係省庁のヒアリングを受けた。	・國學院大學で取りまとめる報告書について、史料の提供等を行い協力していく。 ・風致地区の確定とそこでの事業、文化財施策の今後について検討する。	・國學院大學と作成した実習の報告書において、資料館施設についての意見をいただいた。 ・風致維持向上計画第5章「文化財の保存と活用に関する事項」において資料館の方向性を示すことができた。 ・ほろわの里資料館とその周辺の管理について、平成30年度より地域の関与を導入することとなった。	・8月10日～16日まで國學院大學博物館学研究室の教授及び学生が、実習と調査を機手で行うとともに、報告書の作成を協働で行った。 ・風致維持向上計画策定のため、歴史まちづくり課と調査や執筆を行い、文化庁等の三省ヒアリングに参加した。 ・大森八沢木地域の組織と調整を行った。	・今回の意見を踏まえつつ、引き続き國學院大學と連携しながら議論をふる足掛かりを得ることができた。 ・風致維持向上計画で方向性を示すことができ、事業にあたり各省の支援を受けやすくなった。 ・ほろわの里資料館は、風致維持向上計画の重点地区内にあり、今後のありかたの議論を深めるきっかけを得ることができた。

■平成29年度

教育総務部 図書館課

組織目標管理シート

No.	課室 所名	目標項目	難易度 (ABC)	目標の内容				目標に対する活動(上半期レビュー)		目標達成の状況(output・input)		成果分析[outcome]	
				目標指標の内容	目標の基準値	目標達成時期	目標値	目標達成のための具体的方法	【現 状】	【ギャップと対策】	①達成値・実績値	②取組・行動内容	③目標達成による成果
				(何を)	(目標設定時の状態・比較実績)	(いつまでに)	(どの水準までとする・達成後の状態)	(具体的な取組・行動の内容・スケジュールの概要など)	上期(4月～9月)の取組実績 (具体的活動・行動)	下期(10月～3月)に向けた課題と 取組の予定(具体的活動・行動)	(目標の達成状況・ 現在の状態)	(目標達成のために 行った取組・行動)	(目標の達成による効果、 目標達成できなかった事由)
業務改善取組①	図書館課	図書館課機能の充実と市立図書館相互の連携強化及び情報の共有化による課題解決	B	図書館課・市立図書館職員全体による職員会議	月1回程度の定期実施	年度末	・月1回の定期的な職員会議の実施 ・突発的な問題・課題に対し、迅速な職員会議の開催 ・上記の効果的な実施による、解決策の検討と業務の円滑化	・職員会議・市立図書館職員の職員会議を実施し、情報共有を徹底 ・問題や課題が発生した際、早急な対応が取れる環境と意識の醸成 ・図書館(非常勤職員)相互の連携強化と各図書館の課題解決のため、定期的なミーティングの実施	・職員会議は毎月1回資料整理日に実施し、情報共有を徹底している。 ・図書館(非常勤職員)のミーティングも職員会議同様毎月1回実施している。 ・各図書館の問題や課題が発生した際には、早急な解決に取り組んだ。	・職員会議及び図書館(非常勤職員)のミーティングは今後も引き続き毎月1回実施する。 ・市立図書館として、情報や問題または課題が発生した場合の対処法を共有する。	毎月1回定期的に職員会議を実施し、業務が円滑に行われた。	月初めの資料整理日が休館であるため、全6館が一室に意見交換を実施した。	他館の情報を参考にしたり、問題・課題の対処法を共有し、特色のある図書館づくりに取り組むことができた。
重点取組①	図書館課	「子ども読書活動推進計画」の検証と次期計画(H31～)策定の準備	A	・平成28年度末現在の基本目標の達成状況及び取組状況 ・次期計画策定に向けた準備作業	年度末	【基本目標達成済み計画5項目の達成値】 ・ティーンズコーナー設置図書館数：100% 他 【基本目標未達成計画10項目の目標値】 ・小・中学生一人あたりの貸出冊数：20冊 他	基本目標達成項目の水準維持と未達成目標値の上積み ↓ 平成30年度での目標達成を見据え、子どもの活字離れを防止、読書の楽しさや大切さを学べるよう、家庭・地域・学校・行政が協力し読書活動を推進	関係各課等に対し、現在の目標値に関する取組状況を再確認し、その達成に向けた今後の取組について計画を作成し、実施状況の検証について検証しながら、次期計画策定の準備を開始 10月 アンケートの準備開始(～2月集計) 11月 子ども読書活動推進計画調査作成 12月 子ども読書活動推進計画調査作成(事業の推進・検証)	・10月 アンケートの準備開始(～2月集計) ・11月 子ども読書活動推進計画調査作成 ・12月 子ども読書活動推進委員会開催	「子ども読書活動推進計画」第1次の4年目として、毎年行っているアンケートを実施した。 次期計画のアンケート項目の確認を行った。	今後の取り組みについて計画を作成し、推進委員会を開催した。	「子ども読書活動推進計画」第2次の計画策定準備のため、29年度の実施状況成果の検証を行う。 30年度の取組の見直しが必要である。	
重点取組②	図書館課	平鹿図書館移設業務	A	・平成28年度までの移転作業進捗状況 ・旧図書館利用実績(1人あたり貸出冊数:2.95冊、利用率:8.56% 他)	年度末(移転作業は10月末)	・平鹿地域多目的総合施設との複合施設というメリットを最大限活かした図書館づくり ・旧平鹿図書館における利用実績の上積み	8月 平鹿地域多目的総合施設 完成 9月 平鹿図書館臨時休館及び移設準備作業(箱詰め等)開始 10月下旬 新平鹿図書館サービス開始	・8月 平鹿地域多目的総合施設完成 ・9月から10月末まで臨時休館にし、その間、図書の箱詰めや運搬、配架等、オープンの準備を進めた。	・10月30日 平鹿図書館オープン 多目的総合施設というメリットを活かし、オープン後には来館者に対して、スムーズな運営を行う。 ・開架圖書の充実と閉架圖書の整備を行う。	複合施設のメリットとして、地域局から図書館へのスムーズな流れを作ることができた。	地域局と図書館の間にあるホールを利用し、作品を展示する等、趣向を凝らした催しを行った。	図書館のみの利用者に限らず、地域局へ来庁した幅広い年代の入館者が増加し、10月30日オープンから2月末までの約4か月で1日平均100名を超えた。(昨年同時期45名)	
重点取組③	図書館課	郷土資料の収集・保存	B	・収集対象が、寄贈等による受動的な資料保存に留まっている点 ・市立図書館主導で積極的に収集した資料の不足	年度末	・横手市に関する行政資料等や横手市に関係のある方が発行した資料等を、より積極的かつ幅広く収集・保存 ↓ 市民の活動の証となる資料等を未来に引き継ぐ	5月 各課室等へ協力員(職員)の推薦依頼 6月 協力員へ収集方法の説明 各課室からの資料の受入及び保存(各図書館で対応) 随時 郷土資料に関し、広報・HP・図書館にゆずを活用した積極的な情報発信と、郷土資料の発行情報の収集	・横手市に関する行政資料や横手市に関係のある方が発行した資料を収集・保存している。 ・7月 各課室等へ協力員(職員)の推薦依頼実施 ・7月末 収集協力員57名決定	・下期には協力員へ収集方法の説明を行い、作業協力を依頼する。	資料の収集は、一部の協力員からの受入れで留まってしまった。	各課室等へ協力員の推薦依頼を実施し、収集方法の説明を行った。	具体的な周知ができなかったため、資料の収集ができなかった。 来年度は詳しい説明を行う。	
重点取組④	図書館課	図書館員の知識向上と各種情報の共有化	B	・図書館員研修会開催(平成28年度・12回) ・県立図書館出前研修会(平成28年度・3回)	年度末	・図書館員研修会開催(12回) ・県立図書館出前研修会(3回) ↓ ※各図書館の取組や改善点について協議し、課題を解決 ※県立図書館の出前研修等に参加し、図書館員としてスキルアップ	【開催予定研修】 ・図書館員研修 12回 ・県立図書館出前研修 3回 ※その他研修会 ・秋田県図書館協会職員研修 ・県南図書館協会主催研修 ・北日本図書館連盟主催研修	・図書館員研修 6回 ・県立図書館出前研修 1回 ・秋田県図書館協会職員研修 1回 ・県南図書館協会主催研修 1回 ・合同研修(学校図書館司書) 1回 ※その他各機関で開催する研修会に参加し、図書館員としてスキルアップを図っている。	・図書館員研修 6回 ・県立図書館出前研修 2回 ・秋田県図書館協会職員研修 1回 ・県南図書館協会主催研修 1回 ・合同研修(学校図書館司書) 2回 ・秋田県図書館協会職員研修 1回	・図書館員研修 6回 ・県立図書館出前研修 2回 ・秋田県図書館協会職員研修 1回 ・合同研修(学校図書館司書) 2回	秋田県立図書館に対して、市立図書館の研修計画の要望を提出し対応していただいた。 また、県図書館協会や県南図書館協会にも積極的に参加した。 職員は勤務状況を確認し調整を図った。	課題解決や改善等を情報共有することで、全館のレベル向上とスキルアップが図られた。	
重点取組⑤	図書館課	「横手市生涯学習推進計画第3次計画(H29～33)」に沿った図書館充実の取り組み	B	・市民1人当り図書貸出冊数：2,94冊 ・図書館の入館者数：240,619人 ・人口に占める図書館利用カード登録者数割合：18.4%	年度末	・市民1人当り貸出冊数：3.3冊 ・入館者数：242,000人 ・人口に占める図書館利用カード登録者数割合：19.0% ※平成33年度末に上記目標値を達成できるよう具体的施策に取り組み	・親向け「子ども読書本」情報の提供と新たなサービスの充実 ・横手市子ども読書活動推進計画」との連動 ・「世代別読書情報の発信」など市民の読書推進 ・庁内における連携の促進	・親向け「子ども読書本」情報の提供として、4ヶ月検診時に0歳からのお子様の読書情報の配布を実施し、読書のきっかけづくりを行った。	・「生涯学習推進計画第3次計画」や「子ども読書活動推進計画」により、子どもたちの支援は行われてきたが、今後は身近な親や市民全体に支援できるように情報提供を行う。	3次計画の最終年度である33年度末までに、目標値を達成できるよう情報提供などのサービスをしている。	・親向け「子ども読書本」情報の提供として、4ヶ月検診時に0歳からのお子様の読書情報の配布を実施し、読書のきっかけづくりを行った。	「生涯学習推進計画」や「子ども読書推進計画」の連動により、子どもへの支援は充実しているが、今後は親や市民全体に支援できるように情報提供を行う。	